

ICT 端末を用いて、作品を紹介する資料を作成し、仲間と
確かめ合うことで、表現力や表現への意欲を高める学習

複数学年

なかよしアート展～みんなでクリスマス～

こんな子どもたちの姿が生まれました！

- 端的な言葉と、視覚資料を効果的に組み合わせることで、分かりやすく表現できました。
- 互いの発表の良さを伝え合うことで、表現することへの意欲を高めることができました。
- 様々な ICT の機能を活用することで、分かりやすさや表現のしやすさを実感することができました。

分かりやすく表現できるよう、プレゼンテーションソフトや大型提示装置を効果的に活用



プレゼンテーションソフトに画像や映像、キーワード等を入れ、聞き手に対して、大型提示装置に投影して見せるとともに、端的な話を交えながら発表する。

- ・ プレゼンテーションソフト内に視覚資料と話す内容を入力したり、繰り返し発表できる機会を設けたりするなどして、安心して発表できるようにするとともに、仲間や教師からの評価及び自己評価をもとに、いつでも加筆修正できるようにする。
- ・ 視覚資料と合わせてキーワードを示したり、話す時間を極力短くしたりするなどして言語による情報を精選するとともに、大型提示装置に投影することで、聞き手にとって内容が分かりやすくなるようにする。

教師の指導のポイント

- ▶ 最も伝えたいことは何かを、事前に一人一人の児童と確認し、どの場面の画像や映像を、どの順番で、どの大きさで提示すると分かりやすいか一緒に検討することで、いくつかの選択肢の中から自己決定できるようにする。また、プレゼンテーションソフト内に原稿を作成するか、視覚資料と一緒にキーワードを示すかなど、何を拠り所にして、どの程度話すかについても一緒に検討し、いくつかの選択肢の中から自己決定できるようにする。

評価を蓄積し、常時振り返ることができるよう、プログラミング教育ソフトや録画機能を効果的に活用

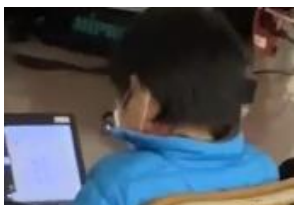
プログラミング教育ソフトや録画機能を使って、発表後すぐに、話し手に対する聞き手からの即時評価を行う。

- ・ プログラミング教育ソフト（Scratch）で作成した表に、花まるを付けることができるようにしたり、録画機能を活用して言葉によるメッセージを残せるようにしたりして、発表の良さを伝えられるようにする。
- ・ 聞き手にとっても記憶に新しいうちに評価できるよう、発表終了後すぐ評価する。



記録した聞き手からの評価を、授業の最後に確かめる。

- ・ 聞き手全員からの花まるやメッセージを、発表が全て終わった段階で視聴し、自身の発表が分かりやすかったかどうかを確かめる。
- ・ なかよしアート展当日に向けて、発表の内容や方法について、自信をもって続けることと、改善を加えた方がよいところを明らかにする。



教師の指導のポイント

- ▶ 評価の対象を、教師、同じクラスの仲間から保護者や校内の児童、地域の方と広げ、本時と同じような評価方法を積み重ねていくことで、自身の学びがより多くの人に貢献できることを実感できるようにする。